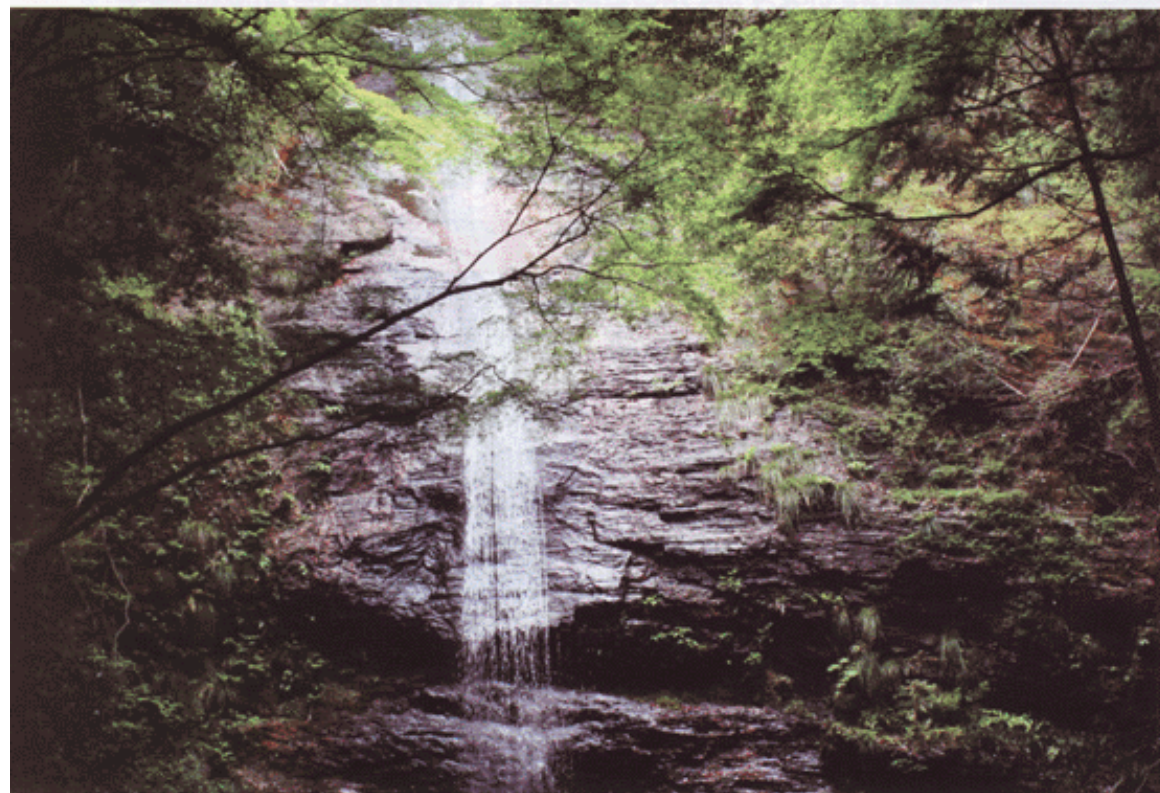


# ふれあい さいせい



発行  
済生会西条病院  
2009年春号 第43号  
西条市朔日市269-1  
TEL (0897) 55-5100



西条市東之川 御樽の滝 撮影：センター長 常光 謙輔

電子カルテシステムが稼動し始めました

副院長 外科部長 石井 博

常勤医師による脳神経外科診療を開始しました!!

栄養相談室が移転しました!!

お花見会

いしづち苑 介護福祉士 浦田 隆幸

DPC準備病院となっています

医事課長補佐 豊田 浩行

ニューフェイス

受付方法が変わりました!

採血を中央採血室で行っています

## 電子カルテシステムが稼動し始めました

副院長・外科部長 石井 博



副院長・外科部長  
石井 博

平成21年2月から新規にオーダリング、電子カルテコンピューターシステムが当院に導入されました。その正確性により医療安全管理の面から間違いが少なくなる利点、その迅速性により医療情報管理の面から院内でいつでも情報を共有できる利点があります。このIT化により、外来においては会計までの時間の短縮、投薬までの時間の短縮が見込めます。入院においては検査やレントゲン結果をすぐに見覧することができる上に確実な医療の指示を出すことができ、迅速、安全で確実な医療を目指すことができます。利点は非常に多いのですが、コンピューターへの入力を基本的に医師が行うため診察時間が長くなる欠点があり、診察でお待たせする時間が長くなっており、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。しかし、システムの入力に慣れれば、以前の紙カルテよりも迅速に記載することができ時間の短縮が見込まれます。残念ながら間違いは人間である限り必ず発生いたします。一旦間違いを犯せば死亡事故につながることも

ある医療にとって、最も重要なことは安全性であり、皆様の安全を確保するために必要なシステムであるとお考えいただければ幸いです。また来院された皆様には大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。

最後にこのシステム導入にあたり、数ヶ月間夜遅くまでご尽力いただきました職員の皆様には、この場を借りまして深謝申し上げます。さらに医療の質の向上(安全性)を目指し改善して参りたいと思いますので、忌憚のないご意見のほどお願い申し上げます。

## 常勤医師による脳神経外科診療を開始しました!!

平成19年春以降、脳神経外科の常勤医師がいなくなり、愛媛大学・大上医師による週1度の診療が続いていましたが、この春から浦元 広先生をお迎えし、常勤医師による脳神経外科診療を再開できることになりました。また、検診センターでも脳ドック・簡易脳ドックを開始します。

### 先生のコメント



脳神経外科部長 浦元 広

4月から勤務しておりますが、電子カルテ・病院のシステムにまだまだ慣れていません。暗中模索しています。自分でできることは積極的にやりたいと思っていますので、どうかよろしくお願い致します。

●趣味: スキー、釣り、犬とたわむれること

### 脳神経外科 外来診療一覧表

	月	火	水	木	金	土
午前	浦元	浦元	浦元	浦元	大上(愛大) ※ 検診・浦元 △	浦元 ○
午後	手術のため、休診					

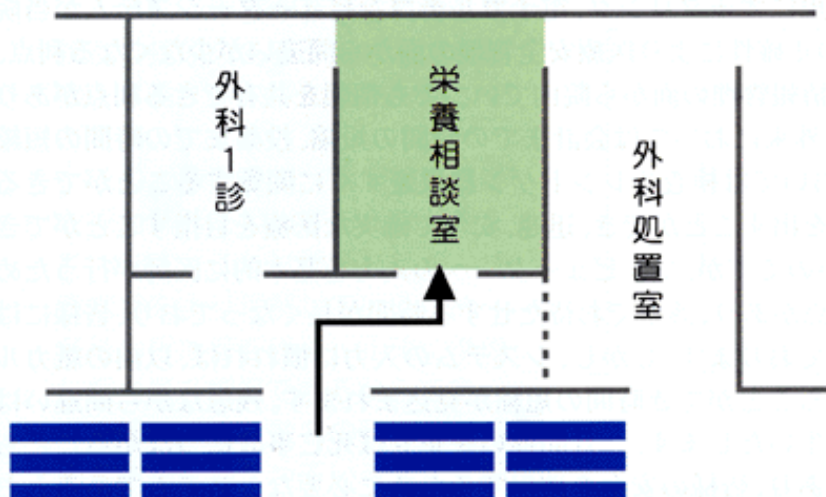
※ 金曜日・午前の大上医師の診察は11時までの受付となります。

△ 脳ドック・簡易脳ドックは、金曜日に実施しています。予約制です。検診センターへお問合せ下さい。

○ 土曜日の診察は、第1・第3土曜日のみです。それ以外の土曜日は休診です。

## 栄養相談室が移転しました!!

3月26日より栄養相談室が、脳神経外科1診から外科2診に移転しました。管理栄養士3名が、医師の指示と病態に合わせて食事のバランスや量等について個別にアドバイスさせていただきます。お気軽に声をかけてください。



※外科1診の入口から入り、右側の部屋です。



# お花見会

いしづち苑 介護福祉士 浦田 隆幸

4月5日、春らしいポカポカ陽気に恵まれた、日曜日の昼下がりに、いしづち苑前庭の、満開の2本の桜の木を取り囲むように、入所者さんやご家族の皆さんが集まりました。やがて、大森主任ケアマネジャーの弾く三味線の音とともに、お花見会の幕開けとなりました。



うす紅の ソメイヨシノの  
花びらに 若き日思ふ お花見会

今年のお花見会の呼び物は、3月に新規採用となったばかりの、高津介護福祉士のマジックショーです。ボール紙に彩色した、メガネと山高帽子のマジシャン高津に、皆さん興味津々です。まず、黒い布で覆ったコップの上のコインが、布が破れないまま、コップの中に落ちるマジックに、最前列の子供達が驚きの声をあげました。

次に、消えた100円玉が、きっちり梱包しているお菓子箱の中の、お菓子を割ると出てきたときは、会場にどよめきが起こりました。



さらに、子供達が覚えた千円札と同じ番号の千円札が、封切りをしていないティッシュ箱を封切りし、ティッシュを3、4枚取り出すと出てきたときは、拍手と歓声が沸き上がりました。

そして、子供達がサインをした10円玉が、二重になった箱の中の、密封した袋から出てきた時は、会場のボルテージは、最高潮に達しました。

入所者さんやご家族も、抹茶や和菓子を食べるのを忘れ、しばし見入っておられるほどでした。一時間という長丁場を、ほど良い緊張感とユーモアと笑顔により、皆さんを飽きさせない、見事なマジックショーとなりました。

春爛漫 いしづち苑の お花見会 マジシャン高津 あっぱれデビュー

青空に、満開の桜と入所者さんの笑顔が映え、楽しいお花見会となり、名残惜しい後かたづけとなりました。平成21年度も、いしづち苑のモットーであります「明るく、楽しく、元気よく」で毎日を頑張っていきたいと思えます。

## DPC準備病院となっています

医事課長補佐 豊田 浩行

DPCとは、Diagnosis(診断) Procedure(行為) Combination(組み合わせ)の略で、本来は診断群(病名)の分類方法を意味しますが、「包括支払い方式」とも呼ばれています。

現在、当病院の入院医療費は「出来高支払い方式」と呼ばれ、投薬、注射、検査など行った医療行為を合算し計算しています。これに対してDPC(包括支払い方式)では、患者さんの病名や治療内容によって1日あたりの医療費が決められており、これに入院日数を乗じて計算されます。ただし、手術、リハビリなど専門的な技術を必要とする医療行為は、従来の出来高支払い方式となります。実際には包括部分と出来高部分の合算により計算されます。

この制度は、平成15年4月より特定機能病院(大学病院や国立病院など)で導入され、以後、一定の基準を満たす急性期病院にも認められるようになりました。医療の標準化を進め、質の高い医療を提供することが目的とされています。

当院は、平成20年4月よりDPC準備病院となっています。現在、平成22年度からの速やかな制度移行を目指して、体制の整備に努めています。

## 受付方法が変わりました!



平成21年2月1日から電子カルテシステムが稼働し始めました! 稼働当初はスタッフの操作の不慣れもあり、外来でお待たせすることもありましたが、稼働開始から3か月間、大きなトラブルもなく無事稼働し続けています。

なお、電子カルテ稼働に伴い外来の受付方法が変わりました。従来の受付方法に馴染まれたみなさまにはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

### 1. 初めて診察を受ける場合 (初診)

健康保険証、診察券をお持ちの場合は診察券を持って、受付前にて問診票に記入ください。記入ができましたら、受付カウンターまでお持ちください。

### 2. 再診の場合

診察券を受付前にある再来受付器に入れ、画面の指示に従って受診したい科のボタンを押してください。受付票を持って希望の受診科の前でお待ちください。

### 3. 予約の場合

診察券を受付前にある再来受付器に入れてください。予約している科の名前が表示されますので「確認」ボタンを押し、受付票を持って予約している受診科の前で、予約票を予約票入れに入れてお待ちください。

※保険証の確認をさせていただいております。再来受付器の画面にメッセージが表示されましたら、受付で保険証の提示をお願いします。

わからないことがございましたら、お近くのスタッフにお声をおかけください。



## 採血を中央採血室で行っています

今年2月の電子カルテ導入に伴い、臨床検査科に中央採血室が新設されました。

採血や採尿のある患者さんは新設の13番・中央採血室へお越しください。

このように近年、臨床検査技師が採血業務を担当する病院が増えています。これは検査技師が、検査内容をより理解しているため、各種の採血管を迅速・正確に準備し採血量を把握できるからです。

看護師1名と数名の臨床検査技師が業務に当たっていますが、採血技術も向上するよう努力して参りますので宜しくご協力をお願いいたします。

